

勸善
懲惡

讀切講譯

花源堂誌

稲妻や

黒の空

あはれの夢

いそぐ

うき世のうき世を思ひ鳥静深を慕ふとい由井五郎と金井の二個
奥坂東を行巡り陣ゆく駒の月毛あき夜の星明王首塚へあき
捜す明神の炎の水隠きひびき刀の光を引返し互の半練
稲妻の闇を貫く道芝ふも尺火影小名乗合ふ由井小降伏
連判の望み金井が反逆も空しく法の塊ふ田王寺と勇名を
残るも横報の本意と諒もり

金井谷五郎

稲妻

おり九一

勸善懲惡 讀切講訳 文庫10-8311-7

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library